

# 厚岸地域マリンビジョン

～新時代の水産業を目指して～

水産物の安定供給  
基盤・体制の確保

環境・生態系保全と  
グリーン社会の構築

安全安心な  
漁業地域づくり

漁村地域の  
総合的な振興

## 厚岸地域マリンビジョン協議会

【メンバー構成】

- ・厚岸町
- ・厚岸漁業協同組合
- ・厚岸水産物買受人組合
- ・厚岸町商工会
- ・厚岸観光協会
- ・厚岸町自治会連合会
- ・釧路太田農業協同組合
- ・北海道厚岸翔洋高等学校

## ●基礎データ

地域人口：8,892人（厚岸町、R2国勢調査値）

漁業生産量：9,256t（R4港勢調査値）

漁業生産額：4,752百万円（R4港勢調査値）

漁港：厚岸漁港（第3種）

床潭漁港（第1種）

«令和7年3月改訂»

## 地域の将来像

### テーマ：水産業を核とした地域づくり

水産物の安定供給基盤・体制の確保

- ・高度な品質・衛生管理体制と多様な流通体制の構築
- ・養殖生産拠点の形成
- ・スマート水産業の推進

- ・漁港施設の整備及び衛生管理体制の構築
- ・新たな厚岸産水産物のブランド化
- ・陸上養殖を含めた増養殖生産体制の構築
- ・ICT、IoT等を活用した水産業の推進

環境・生態系保全とグリーン社会の構築

- ・沿岸海域の環境・生態系保全活動の広がり
- ・漁港・漁村地域におけるカーボンニュートラルの推進

- ・藻場環境の保全
- ・沿岸海域・湖の環境保全活動の推進
- ・漁港施設における再生可能エネルギー等の導入

安全安心な漁業地域づくり

- ・増大する災害リスクに対応した漁港機能の強化
- ・ハード・ソフトが一体となった避難体制の構築
- ・災害時における水産物流通機能の確保

- ・地震・津波・高潮等の災害リスクへの対応力強化
- ・災害時における水産物流通機能の確保

漁村地域の総合的な振興

- ・海業振興による地域資源を活かした新産業の創出

- ・地域資源を最大限活かした海業の推進
- ・交流人口の増加に向けた取組の推進

## 地域全体

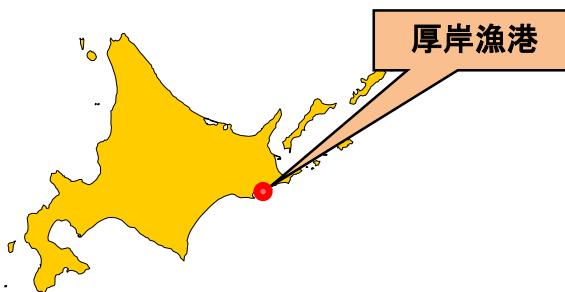
### 現状

### 課題

- ・人口の減少
- ・少子高齢化の進行
- ・漁業従事者の減少・後継者不足
- ・沖合漁業の不振
- ・高潮等の災害が頻発化
- ・通過型観光

- ・漁港施設整備、衛生管理体制の構築
- ・新たな増養殖生産体制の構築
- ・ICT、IoT等の活用
- ・再生可能エネルギー等の導入
- ・大規模災害への対応
- ・交流人口の増加

## 【位置図】



【第3種 厚岸漁港】

## 地域資源（特徴）



〈サンマの水揚〉



〈牡蠣とあっけし極みるく65〉



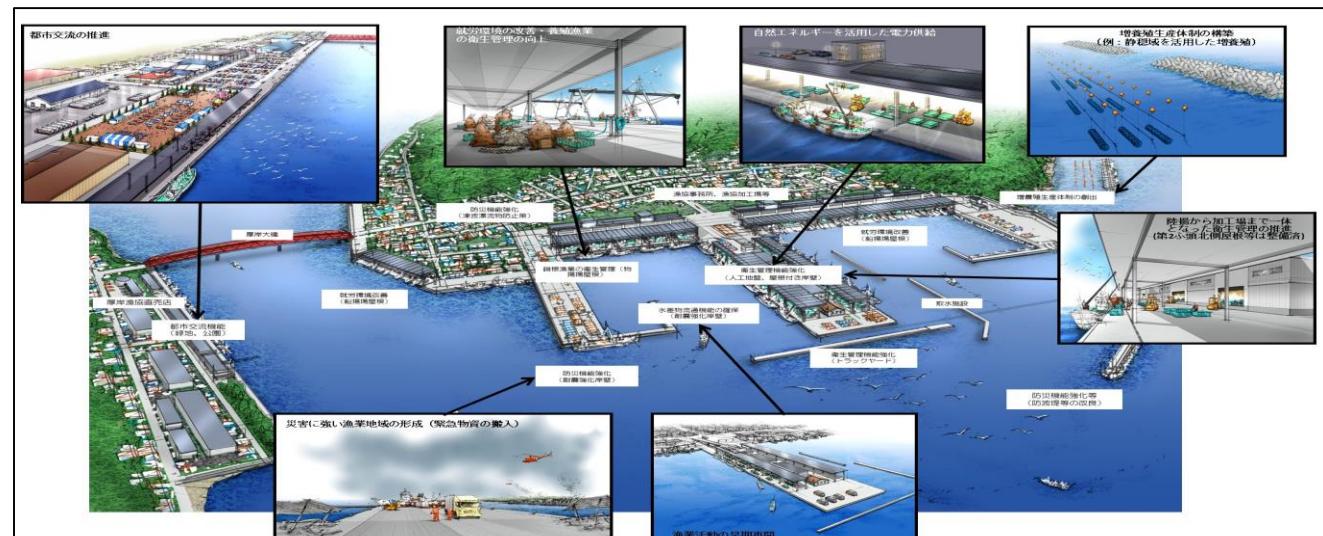
厚岸湖・別寒辺牛湿原

〈厚岸霧多布昆布森国定公園〉  
令和3年3月指定

## 【その他】

- ・厚岸漁業協同組合直売店（厚岸産水産物を全国に発信）
- ・道の駅 厚岸グルメパーク 厚岸味覚ターミナル・コンキリエ（北海道「道の駅」ランキング いちおしの“おいしいもの”部門 6年連続1位）

## 【厚岸地区の将来イメージ図】



# 水産物の安定供給基盤・体制の確保

【持続的漁業生産体制の確立】 【養殖生産拠点の形成】  
 【高度な品質・衛生管理体制と多様な流通体制の構築】  
 【スマート水産業の推進】

# 厚岸地域マリンビジョン

水産物の安定供給基盤・体制の確保

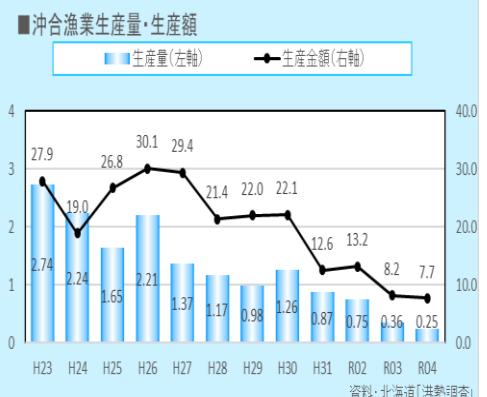
現状

- ・衛生管理型漁港施設（屋根付き岸壁、清浄海水導入施設）及び衛生管理型荷捌き施設が整備済
- ・衛生品質管理マニュアルを策定済
- ・衛生管理研修会を毎年開催
- ・カキえもん、弁天かき等厚岸産水産物のブランド化
- ・厚岸翔洋高校におけるマイスターハイスクール事業の実施（海洋観測機器「うみログ」・「スマートブイ」設置によるデータの活用、未利用魚（アメマス）を使った新商品の開発）
- ・沖合漁業の不振
- ・釧路管内水産種苗生産センターでウニの陸上養殖試験が実施中
- ・マツカワ種苗放流を毎年実施
- ・漁業従事者の減少、後継者不足
- ・市場業務におけるICT技術の導入

課題

- ・漁港施設の整備・維持補修による安定的な漁業生産活動と衛生管理体制の推進
- ・厚岸産水産物の更なるブランド化、付加価値の向上
- ・陸上養殖を含めた増養殖生産体制の構築
- ・漁業後継者対策
- ・漁業活動における自動化・省人化・省力化の推進

## 沖合漁業生産量・生産額



### 【概要】

- ・沖合漁業の推移
- ・生産量・生産額ともに大きく減少

## ICT技術を用いた市況掲示版



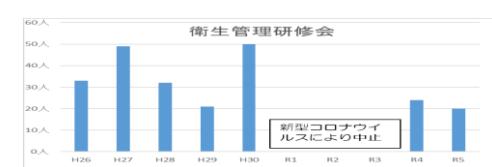
【概要】  
 ・厚岸地方卸売市場で運用開始  
 (令和2年)

## 推進方策

取組内容	取組体制	スケジュール	数値目標
漁港施設整備・維持補修による漁業生産活動及び衛生管理体制の推進	主体：国、道、町漁協	短期：施設整備、運用	・安定的な漁業生産活動の継続 ・漁港における衛生管理基準「レベル3」を満たす
		中期：施設整備、運用、ニーズに合わせた次期特定漁港漁場整備事業計画への衛生管理型施設の位置付け	
		長期：施設整備、運用	
衛生品質管理マニュアルに基づく衛生管理体制の確立	主体：漁協、町(厚岸地区水産物衛生品質管理対策部会)	短期：衛生品質管理マニュアルの運用、衛生管理研修会の開催、現地指導、先進地視察	・漁港における衛生管理基準「レベル3」を満たす ・衛生管理研修会（年1回） ・現地指導の実施（年1回）
		中期：衛生品質管理マニュアルの更新、衛生管理研修会の開催、現地指導	
		長期：更新後の新たな衛生品質管理マニュアルの運用、衛生管理研修会の開催、現地指導、優良衛生品質管理市場・漁港の認定取得に向けた検討	
新たな厚岸産水産物のブランド化・商品化	主体：漁協、町民間、高校	短期：関係者によるブランド化対象魚種の選定、先進地視察	・新たな厚岸産水産物のブランド化・商品化を目指す（1魚種以上） ・厚岸産水産物の単価10%増加を目指す
		中期：衛生管理施設を活用した水産物の付加価値化に向けた方法の検討（エコラベル、商標登録、GI保護認証等）	
		長期：認証取得、ブランド化・商品化された水産物のPR及び販売等	
陸上養殖を含めた増養殖生産体制の構築	主体：漁協、町民間	短期：ウニの陸上養殖試験事業の実施、対象魚種の選定、先進地視察、採算性の検討	・陸上養殖における10年以内の事業化を目指す
		中期：増養殖施設の計画立案及び施設設計、採算性を踏まえた生産目標の設定	
		長期：増養殖施設の建設、運用	
ICT、IoT等の先端技術の活用	主体：漁協、町民間、高校	短期：関係者による機器導入及び活用方法に向けた検討、試験運用、先進地視察	・漁業関係者の活用
		中期：機器の導入（ICT、IoT、AI、ロボット等）、機器の活用	
		長期：機器の更新、関係者による新たなスマート水産業の検討	



衛生管理型漁港施設（厚岸漁港湖南地区）



衛生管理研修会参加者数



アメマスを使った新商品「あめかま」



ウニの陸上養殖試験事業



「うみログ」、「スマートブイ」の設置



# 環境・生態系保全とグリーン社会の構築

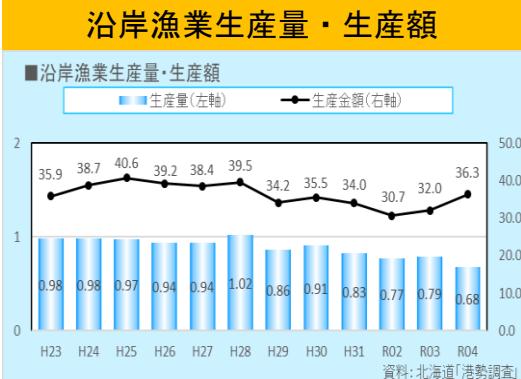
【沿岸海域の環境・生態系保全活動の広がり】  
【漁港・漁村地域におけるカーボンニュートラルの推進】

厚岸地域マリンビジョン

環境・生態系保全とグリーン社会の構築

- ・気候変動等に伴う漁獲量の減少
- ・毎年、コンブ漁場の岩盤清掃を実施
- ・毎年、植樹活動を実施
- ・毎年、海岸・漁港等の清掃活動を実施
- ・「ゼロカーボンシティ」の表明（令和3年3月）
- ・漁港施設における消費電力が増加傾向

- ・継続的な藻場の保全活動
- ・継続的な海域・湖・河川・森林等の保全活動
- ・カーボンニュートラルに向けた温室効果ガス削減の取組（再生可能エネルギー活用、ブルーカーボン等）を推進
- ・漁港施設における消費電力の削減



【概要】生産量が減少傾向



【概要】バラサン岬における海岸清掃活動（令和5年5月）

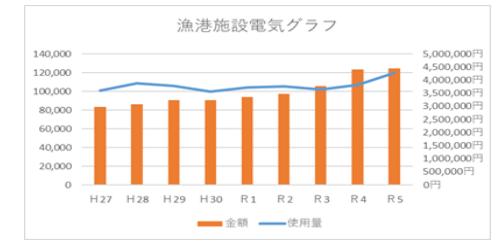
ゼロカーボンシティ表明の概要

【概要】

2050年（令和32年）までに、二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す  
環境問題の解決に向けた施策の更なる推進を図るとともに、厚岸町地球温暖化対策実行計画  
(区域施策編 令和6年3月策定) を着実に実行し、温室効果ガス削減の取組を推進する

## 推進方策

取組内容	取組体制	スケジュール	数値目標
コンブ漁場の岩盤清掃事業	主体：漁協 国、道、町	短期：コンブ漁場の岩盤清掃事業を実施（水産多面的機能発揮対策事業、コンブ漁場改良事業）	・岩盤清掃面積 90万m <sup>2</sup> /年
		中期：コンブの繁茂状況の確認	
		長期：藻場の保全・回復	
植樹活動及び海岸・漁港等の清掃活動を実施	主体：町、漁協 民間、町民	短期：植樹活動及び清掃活動を実施	・毎年植樹活動及び清掃活動を実施する
		中期：活動内容の検証	
		長期：沿岸海域の環境・生態系の保全	
荷捌き施設等における再生可能エネルギーの活用	主体：漁協 国、道、町	短期：関係機関による実現可能な再生可能エネルギーの検討（太陽光等）、勉強会の開催、先進地視察	・荷捌き施設等の全ての電力を再生可能エネルギーにすることを目指す
		中期：施設整備計画の立案・施工、補助事業申請	
		長期：荷捌き施設等における再生可能エネルギーの活用	
漁港電灯設備のLED化	主体：国、道、町	短期：関係機関による協議、施設整備計画の立案、補助事業申請	・漁港の既存電灯及び新規設置電灯全てをLED化する（既存電灯：厚岸漁港100基、床潭漁港13基 計113基）
		中期：施設整備の実施	
		長期：事業内容の検証	
ブルーカーボンの推進	主体：町、漁協 民間	短期：コンブ漁場の岩盤清掃事業を実施、勉強会等へ参加、先進地視察	・ブルーカーボンによるCO <sub>2</sub> 吸収量の維持
		中期：ブルーカーボンによるCO <sub>2</sub> 吸収量の算定、関係機関とクレジット認証についても検討	
		長期：藻場の保全によるブルーカーボン吸収量の維持	



コンブ漁場の岩盤清掃

厚岸町民の森植樹祭（令和6年6月）

漁港施設における消費電力の推移

# 安全・安心な漁業地域づくり

安全・安心な漁業地域づくり

- ・頻発する高潮対策を担う岸壁等の嵩上げ整備が実施中
- ・航路浚渫が実施中
- ・湖南地区に津波漂流物対策施設（津波スクリーン）が整備済
- ・湖南地区第2埠頭に人工地盤が整備済
- ・耐震強化岸壁の整備、道路・用地の液状化対策が予定
- ・津波避難施設が整備中
- ・毎年、避難訓練を実施
- ・厚岸漁港BCP計画が策定済

- ・高潮による浸水被害への対策
- ・大規模自然災害に備えた耐震強化岸壁の整備、航路浚渫、道路・用地の液状化対策等
- ・厚岸漁港BCP計画の実効性を確保し、災害時における各魚種の生産及び流通経路の復旧、代替方法の検討

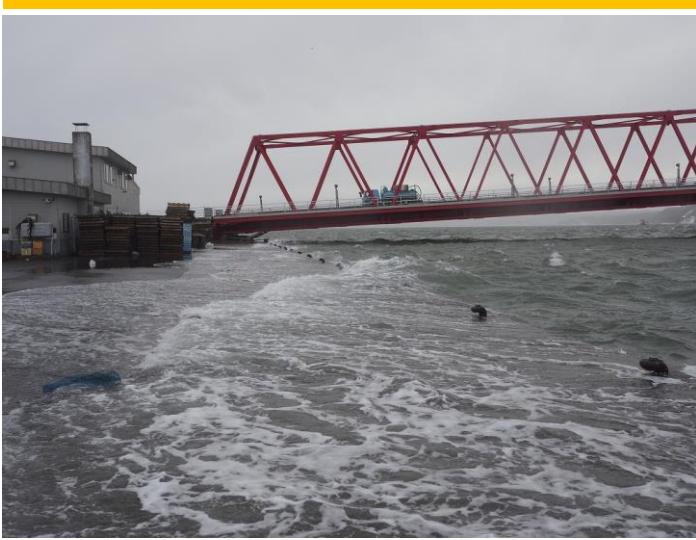
【増大する災害リスクに対応した漁港機能の強化】  
【ハード・ソフトが一体となった避難体制の構築】  
【災害時における水産物流通機能の確保】

厚岸地域マリンビジョン

東日本大震災後の状況



高潮被害の状況



【概要】

・東日本大震災（平成23年3月）被害

（上：漁港背後に多くの漁具等が流出 下：津波により砂が流出したアサリ島）

【概要】高潮浸水被害（令和3年2月 厚岸漁港湖北地区）

## 推進方策

取組内容	取組体制	スケジュール	数値目標
高潮対策の推進	主体：国、道、町	短期：施設の建設・運用	・高潮被害ゼロを目指す
		中期：施設の建設・運用	
		長期：施設の改修等	
耐震強化岸壁の整備、道路・用地の液状化対策等	主体：国、道、町	短期：施設整備に向けた調査・設計・関係機関による協議等	・大規模災害時の緊急物資輸送及び漁業活動の早期再開を目指す
		中期：施設整備、運用、ニーズに合わせた次期特定漁港漁場整備計画への施設位置付け	
		長期：施設整備、運用	
津波避難施設の整備	主体：町	短期：施設の建設	・施設収容人数 337人 ・避難時間 これまでより46分短縮
		中期：施設の運用	
		長期：施設の改修・運用	
避難ルールの策定・運用	主体：町、漁協 民間、市民	短期：地域防災計画等の策定・運用	・大規模災害時に全ての方が無事に避難できることを目指す
		中期：地域防災計画等に基づく訓練の実施	
		長期：地域防災計画等の見直し、運用	
災害時の水産物流通機能対策	主体：町、漁協 (厚岸漁港BCP協議会)	短期：厚岸漁港BCP計画の作成・PDCAサイクルによる運用	・大規模災害時に漁業活動の早期再開を目指す
		中期：机上訓練等の実施、厚岸漁港BCP計画の検証	
		長期：関係機関と協議を行い厚岸漁港BCP計画の見直し	



岸壁嵩上げ事業現場（厚岸漁港湖北地区）



人工地盤（厚岸漁港湖南地区第2埠頭）



津波スクリーン（厚岸漁港湖南地区）



避難訓練の様子（令和4年11月）

# 漁村地域の総合的な振興

【海業振興による地域資源を活かした新産業の創出】

# 厚岸地域マリンビジョン

漁村地域の総合的な振興 現状

- ・厚岸霧多布昆布森国定公園に指定（令和3年3月）
- ・ラムサール条約登録湿地（平成5年6月）
- ・厚岸漁協直売店の売り上げが好調
- ・厚岸漁協直売店の蓄養施設の新設予定あり
- ・厚岸漁協加工冷凍施設が建設中
- ・町内に厚岸産水産物を飲食できるところが少ない
- ・町内に宿泊施設が少ない
- ・通過型観光地となっている

漁村地域の総合的な振興 課題

- ・漁業者の所得向上
- ・海業振興による地域の活性化
- ・漁港の有効活用
- ・飲食施設及び宿泊施設の誘致
- ・通過型観光から滞在型観光への転換



厚岸漁協直売店



厚岸漁協直売店イベント風景



厚岸味覚ターミナル・コンキリエ

## 【概要】

- ・平成12年4月開業の厚岸産水産物の発信基地
- 店頭は多くの客で賑わい、ネット販売、ふるさと納税返礼品取扱も好調

## 【概要】

- ・町のイベント等に合わせて開催し、地域を盛り上げている

## 【概要】

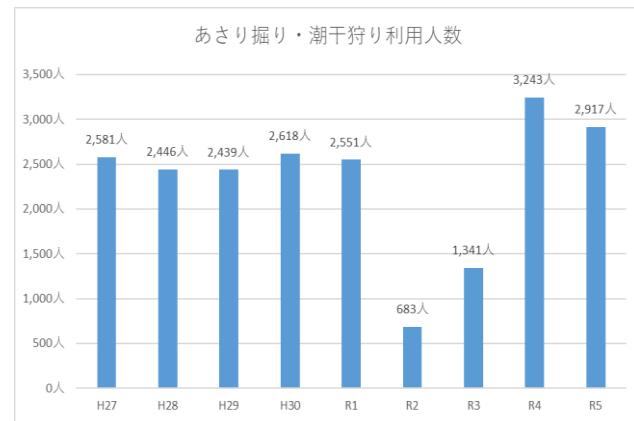
- ・平成6年4月開業
- 食事部門において、北海道「道の駅」ランキング6年連続1位、旅行雑誌「北海道じゃらん」14年連続1位を獲得

## 推進方策

取組内容	取組体制	スケジュール	数値目標
厚岸漁協直売店による厚岸産水産物の販売強化	主体：漁協 国、道、町	短期：厚岸産水産物の販売・PRの推進	・直売店のふるさと納税返礼品取扱額10%増加を目指す
		中期：蓄養施設の新設、新たな商品・ブランド品等の開発・販売	
		長期：他事業との連携	
漁港レストラン・カフェの誘致	主体：町、漁協 民間	短期：関係機関による協議、マーケティング等の各種調査	・漁港レストラン・カフェ誘致を目指す
		中期：運営を担う民間企業誘致、遊休化した用地を活用した漁港レストラン・カフェの建設計画立案	
		長期：施設の建設、他事業との連携	
宿泊施設の誘致	主体：町、漁協 民間	短期：関係機関による協議、マーケティング等の各種調査	・宿泊施設誘致を目指す
		中期：宿泊施設の誘致	
		長期：宿泊施設の建設、国内外観光客の受け入れ、修学旅行・研修旅行等の受け入れ、他事業との連携	
あさり掘り体験等漁業体験プログラムの実施	主体：町、漁協 民間	短期：あさり掘り体験の実施・PR活動	・漁業体験プログラムの充実を図る
		中期：あさり掘り体験の実施・PR活動、関係者による新たな漁業体験プログラムの検討、マーケティング等の各種調査	
		長期：他事業との連携	
漁港を活用したイベントの開催	主体：町、漁協 民間	短期：関係機関による協議	・年に1回以上イベントを開催
		中期：第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会のような「多くの方に楽しんでもらえる」イベントを開催（※下記写真参照）	
		長期：他事業との連携	



あさり掘り体験の様子



あさり掘り体験利用人数



第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会 豊かな海づくりフェスタ会場（令和5年9月 厚岸漁港湖北地区）

